

# 第54回

## 滋賀県学校体育研究発表大会



《写真：滋賀県提供》

期 日：平成 28 年 2 月 12 日（金）

場 所：コラボしが 2 1 3 階大会議室

滋 賀 県 教 育 委 員 会  
滋 賀 県 学 校 体 育 連 絡 協 議 会  
滋 賀 県 小 学 校 教 育 研 究 会 体 育 部 会  
滋 賀 県 中 学 校 教 育 研 究 会 保 健 体 育 部 会  
滋 賀 県 高 等 学 校 等 教 育 研 究 会 保 健 体 育 研 究 部 会

今回が54回目となる歴史ある研究発表大会です。県内小・中学校の体育・保健体育科教員および県立学校の保健体育科教員、市町教育委員会等教育関係者、さらにこれから教員を目指す教師塾の塾生など約200名参加しました。

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校からの研究発表があり、校種の枠を超え、滋賀県の学校体育の今後について考える貴重な機会となりました。

さらに、奈良教育大学の岡澤教授から「運動有能感を高める授業づくり」というテーマで講演をしていただきました。

## 1 目 的

平成27年度小・中・高等学校等の体育・保健体育研究部会および各校の研究成果を発表するとともに、日頃の体育指導について研究協議し、学校体育指導の充実・発展に資する。

## 2 対 象

県内小・中学校教員および県立学校教員、市町教育委員会等教育関係者 等

## 3 日 程

9:20		10:05		12:00		14:15		
受付	開会行事	研究発表 (1)(2)(3)		昼食・休憩	研究発表 (4)(5)	講評	講演	閉会行事
9:45				13:00	14:40		16:10	

## 4 研究発表

- (1) テーマ 「コンピテンシーベースの体育学習」  
発表者 栗東市立葉山小学校 教諭 青木 作衛 氏



子どもが身につけていく資質・能力であるコンピテンシーの考えをもとにした授業構想とその実践について発表されました。

体育科が体育科のことだけを考えていけばよいのではなく、子どもの学力を向上させていくには、教科の持ち味を引き出し、他教科と関連づけて学びを構成する必要があるという内容の発表でした。

- (2) テーマ 「なりたい自分に出会う体育学習」  
 ～子供が考えたくなる授業づくり～  
 発表者 甲賀市立柏木小学校 教諭 下南 純 氏



子どもたちが、毎時間ごとに「めざす姿になれる」ことを「なりたい自分に出会う」と考え、自発的な学びの姿が生まれる授業のあり方について発表されました。

この実践を通して、「何を」「いつ」「どのように」指導するのか、単元計画表に整理することの重要性を述べ、単元を構想する際には、子どもの発達特性や領域特性を描き出すことを土台とし、そこから支援の具体を構想されていました。

- (3) テーマ 「自分を見つめ、高め合う集団作り」  
 ～体育活動を通して自己肯定感を育てる指導～  
 発表者 滋賀県立鳥居本養護学校 教諭 粕淵 健太 氏



バスケットボール部の活動で育成された規律や積極性をモデルとし、体育の授業の実践に、そしてさらに全校行事や学校生活全体につなげていくことにより、生徒が落ち着き、生き生きと過ごせるようになったという事例から、体育活動の影響の大きさを示していただきました。

「個々の水たまりがバスケットボール部の活動によって池となり、体育活動を通して湖を作っていく、学校全体で海となった」という表現が非常に印象的でした。

- (4) テーマ 「運動の苦手な生徒が、意欲的に取り組めるダンス学習を目指して」  
 ～ケンステップを使ったオリジナルステップの試み～  
 発表者 長浜市立高月中学校 教諭 古川 明子 氏  
 米原市立河南中学校 教諭 橋 圭子 氏



指導に苦手意識や抵抗感を持つ教師が少なくないダンスの単元において、生徒が身近に感じられる「ケン・パ」の動きを使い「現代的なリズムのダンス」で「何をどのように教えればいいのか」を明らかにしながら授業研究を行っていただきました。

I C Tを有効に使い生徒の意欲を喚起するとともに、教師にとっては「これならやってみようか」と気軽に実践しようと思える発表でした。

- (5) テーマ 「共同的な学びによる体育授業実践」  
 ～互いに高め合う授業の仕掛け作り～  
 発表者 滋賀県立草津高等学校 教諭 安田 智洋 氏



昨今、体育の授業において、「技能」のみならず、「思考力・判断力」の育成が求められていますが、今回の発表の内容は「アクティブラーニング」を先取りした取組の発表でした。

発表の中では、具体的な生徒の動きや教師の関わり方などを示していただき、また生徒の感想からも、生徒の前向きな様子が伺え、この草津高校の取組が他校にとっても大いに参考になったと思われれます。

## 5 講演

- ▶ 演題 「運動有能感を高める授業づくり」  
 ▶ 講師 奈良教育大学教育学部 岡澤 祥訓 教授



小・中・高等学校の体育の授業から卓球ナショナルチームなどのトップアスリートまで、幅広く体育・スポーツに関わってこられたご経験をもとにご講演いただきました。

「運動有能感」をキーワードに、内発的動機づけや教師行動の工夫、目標設定の大切さなどを、熱く、楽しく一気にお話しいただき、あっという間の90分でした。

またこの年度の3月にご退職なさるということで、岡澤先生の現職としては最後となる記念すべき貴重な講演となりました。